

vCenter Server の vRealize Operations Manager プラグイン

2018 年 4 月 23 日

VMware vSphere 6.7

VMware ESXi 6.7

vCenter Server 6.7

vRealize Operations 6.7



vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>) にあります
このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

Copyright © 2018 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報。

目次

vCenter Server の vRealize Operations Manager プラグイン 4

1 概要 5

2 vRealize Operations Manager のインストール 6

vCenter Server での vRealize Operations Manager の新しいインスタンスのインストール 6

vCenter Server における vRealize Operations Manager の既存のインスタンスの構成 7

ライセンス 8

3 vCenter Server での vRealize Operations Manager プラグインの使用 9

vSphere Client からのクイック リンクへのアクセス 9

vCenter Server の詳細 9

vSAN の詳細 11

vRealize Operations Manager へのアクセス 12

vCenter Server の vRealize Operations Manager プラグイン

『vCenter Server の vRealize Operations Manager プラグイン』ドキュメントでは、vRealize Operations Manager のインストールおよび vCenter Server と vSAN の詳細の表示に関する情報を提供します。

対象読者

この情報は、vSphere に vRealize Operations Manager をインストールして使用するすべてのユーザーを対象としています。記載されている情報は、読者に Windows または Linux のシステム管理者としての経験があり、仮想マシンテクノロジーおよびデータセンターの運用に詳しいことを想定しています。

VMware の技術ドキュメント用語集（英語版）

VMware の技術ドキュメントでは、新しい用語などを集めた用語集を提供しています。VMware の技術ドキュメントで使用される用語の定義については、<http://www.vmware.com/support/pubs> をご覧ください。

概要

vRealize Operations Manager を使用する vCenter Server の以前のリリースには、NGC プラグインが付属していません。

vCenter Server の新しい vRealize Operations Manager プラグインは、vCenter Server および vSAN に対して、データセンター、データストア、仮想マシン、およびホストに関する特定のメトリックと概要情報を提供するためのメカニズムを用意しています。このプラグインは、HTML5 バージョンの vSphere Client でのみサポートされます。

vRealize Operations Manager のインストール

2

vCenter Server で vRealize Operations Manager プラグインは vCenter Server 6.7 と統合されています。

[メニュー] - [vRealize Operations Manager] をクリックすると、vSphere Client HTML5 6.7 ユーザー インターフェイスから vRealize Operations Manager プラグインに移動できます。vCenter Server の古いバージョンを使用している場合は、vCenter Server 6.7 にアップデートしてプラグインを表示します。

vSphere Client HTML5 ユーザー インターフェイスでウィジェットを表示するには、次のいずれかを行います。

- vRealize Operations Manager 6.7 の新しいインスタンスをインストールします。
- vRealize Operations Manager 6.7 の既存のインスタンスを構成します。

vRealize Operations Manager 6.7 のインスタンスがない場合は、処理を続行できません。

vRealize Operations Manager のインスタンスが vCenter Server からアクセスできない場合は、vRealize Operations Manager サーバにアクセスできないことを示すエラー メッセージが表示されます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vCenter Server での vRealize Operations Manager の新しいインスタンスのインストール](#)
- [vCenter Server における vRealize Operations Manager の既存のインスタンスの構成](#)
- [ライセンス](#)

vCenter Server での vRealize Operations Manager の新しいインスタンスのインストール

このオプションを使用すると、vRealize Operations Manager の新しいインスタンスをインストールできます。

開始する前に

仮想 CPU およびメモリの要件

- 4 vCPU
- 16GB vRAM

ストレージ要件

- 274 GB (シック プロビジョニングのディスクのサイズ)

- 200 GB を超えるデータストア容量

ネットワーク要件

- オンライン インストールのためのインターネット接続。

手順

- 1 vSphere Client HTML5 ユーザー インターフェイスから、[メニュー] - [vRealize Operations] をクリックします。
- 2 [インストール] をクリックします。

新しい [vRealize Operations のインストール] ウィンドウが表示されます。

- 3 [インストール モード] から必要なインストールのタイプを選択します。

オプション	説明
オンライン インストール	オンラインで vRealize Operations Manager のインスタンスをインストールできます。その際、vCenter Server とインストールを実行するブラウザはインターネットにアクセスする必要があります。
オフライン インストール	vRealize Operations Manager の OVA ファイルがすでにローカル デスクトップまたはラップトップのインストールの実行場所にある場合は、vSphere Client HTML5 ユーザー インターフェイスから vRealize Operations Manager のインスタンスをインストールできます。

- 4 ログイン済みの vCenter Server の IP アドレスおよび FQDN 認証情報を指定し、[接続をテスト] をクリックします。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 データセンター、クラスタ、ホスト、データストア、およびネットワーク情報を入力します。
- 7 固定 IP アドレス構成の場合は、ネットワークの詳細を入力します。(オプション)
DHCP インスタンスの場合は、フィールドが空の場合、認証情報が DHCP サーバによって割り当てられます。
- 8 [概要] を読んで、[インストール] をクリックします。

vRealize Operations Manager のインストール済みのインスタンスに使用するデフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **Vmware@123** です。

vCenter Server における vRealize Operations Manager の既存のインスタンスの構成

このオプションを使用すると、vRealize Operations Manager 6.7 の既存のインスタンスを構成できます。

開始する前に

vRealize Operations Manager 6.7 の既存のインスタンスがあることを確認します。

手順

- 1 vSphere Client HTML5 ユーザー インターフェイスから、[メニュー] - [vRealize Operations] をクリックします。
- 2 [既存のインスタンスの構成] をクリックします。

- 3 インスタンスの FQDN IP アドレスを入力し、vRealize Operations Manager インスタンスのユーザー認証情報を入力して、[接続をテスト] をクリックします。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 vCenter Server 6.7 の IP アドレスおよびユーザー認証情報を入力し、[接続をテスト] をクリックします。
操作の実行元となる vCenter Server 6.7 インスタンスの IP アドレスを入力する必要があります。
- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 概要を確認し、[構成] をクリックします。

ライセンス

プラグインは、60 日の試用期間（この期間は、vRealize Operations Manager の評価版ライセンス期間によって決まります）の間、機能します。

60 日後もプラグインを使用し続けるには、次のうち少なくとも 1 つの条件が満たされている必要があります。

- vRealize Operations Manager 6.7 のライセンスが供与されている。
- vSAN クラスターのライセンスが供与されている。

注意 vRealize Operations Manager または vSAN のライセンスを所有していない場合、プラグインは動作を停止します。

vCenter Server での vRealize Operations Manager プラグ インの使用

3

このプラグインを使用して、特定の vCenter Server および vSAN の詳細を表示できます。このプラグインから vRealize Operations Manager に移動することもできます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vSphere Client からのクイック リンクへのアクセス](#)
- [vCenter Server の詳細](#)
- [vSAN の詳細](#)
- [vRealize Operations Manager へのアクセス](#)

vSphere Client からのクイック リンクへのアクセス

クイック リンクにアクセスするには、vSphere Client HTML5 ユーザー インターフェイスで、vRealize Operations ページから右上の [クイック リンク] ドロップダウン メニューをクリックします。

[クイック リンク] ドロップダウン メニューから vCenter Server および vSAN のナビゲーション オプションを表示することができます。

vCenter Server の詳細

vCenter Server のすべてのクラスタに関するサマリの詳細、特定のクラスタの詳細、およびアラートの詳細を表示できます。

vCenter Server の概要

[vCenter Server の概要] ページは、vCenter Server レベルでインベントリ オブジェクトの全体的な情報をまとめたものです。vCenter Server のデータセンター、クラスタ、ホスト、仮想マシン、およびリソース プールを表示できます。このオプションにアクセスするには、[クイック リンク]-[vCenter Server]-[概要] に移動します。vSAN クラスタが構成されていない場合は、vSAN クラスタがないことを示すメッセージが表示されます。初期化段階での統計情報の収集には、遅延があります。

表 3-1. vCenter Server の概要

ウィジェット	説明
何か問題は?	クリティカル アラートが表示されます。詳細については、[詳細表示] をクリックします。
キャパシティ不足が近い?	十分なストレージ、メモリ、および CPU キャパシティがあるかどうかが表示されます。
何が再利用可能であるか?	再利用可能な CPU、メモリ、およびストレージ リソースを表示します。(利用できる場合は) 潜在的なコスト節約に関するデータも適切な通貨で表示されます。
稼動している仮想マシンの数は?	パワーオフおよびアイドル状態の仮想マシンの詳細を含む、稼動中の仮想マシンの数が表示されます。
オペレーティングシステムの分布とは?	vCenter Server に配置されている各仮想マシンのオペレーティングシステムの分布を表示します。
クラスタは HA 向けに構成済み?	HA が構成されているクラスタおよび HA が構成されていないクラスタの数が表示されます。
クラスタのワークロードは分散されているか?	クラスタで DRS が有効になっているかどうかを表示します。

vCenter Server クラスタのビュー

クラスタ内のホスト、仮想マシン、およびデータストアの数を表示できます。クラスタに対して HA および DRS が有効になっているかどうかを表示することもできます。このオプションにアクセスするには、[クイック リンク]-[vCenter Server]-[クラスタのビュー] に移動します。別のクラスタの情報を表示するには、[クラスタの変更] オプションをクリックします。

表 3-2. vCenter Server クラスタのビュー

ウィジェット	説明
何か問題は?	クリティカル アラートが表示されます。詳細については、[詳細表示] をクリックします。
キャパシティがなくなるまでの残り時間	CPU、メモリ、およびストレージ キャパシティが不足するまでの残り時間が表示されます。
何が再利用可能であるか?	再利用可能な CPU、メモリ、およびストレージ リソースを表示します。
インフラストラクチャの使用状況は?	ストレージの計算データおよびネットワーク使用率データについて、過去 24 時間の時系列データを表示します。
CPU 競合とディスク遅延が発生している仮想マシン上位	CPU およびメモリ競合が発生している上位 5 台の仮想マシンが表示されます。
メモリ競合が発生している仮想マシン上位	メモリ競合が発生している上位 5 台の仮想マシンが表示されます。
ディスク遅延が発生している仮想マシン上位	ディスク遅延が発生している上位 5 台の仮想マシンが表示されます。

アラート

vCenter Server 内のオブジェクトに関連するアラートを表示することができます。重要度に基づいてアラートを表示することができます。このオプションにアクセスするには、[クイック リンク] - [vCenter Server] - [アラート] に移動します。データ グリッドでは、アラートと、各アラートの重要度、アラートがトリガされるオブジェクト、アラートのタイプなどの関連する詳細をリストで表示します。vRealize Operations Manager のユーザー インターフェイスに移動するには、データ グリッドで [vRealize Operations で開く] リンクをクリックします。アラートがトリガされるオブジェクトと、修正の詳細を確認することができます。

vSAN の詳細

vSAN のすべてのクラスタに関するサマリの詳細、特定のクラスタの詳細、およびアラートの詳細を表示できます。vSAN クラスタが構成されていない場合、エラー メッセージが表示され、vSAN の概要と vSAN クラスタのビュー ページにウィジェットが表示されません。

vSAN の概要

すべてのクラスタについて、ホスト、vSAN クラスタ、キャッシュ ディスク、仮想マシン、およびキャパシティ ディスクの数を表示することができます。このオプションにアクセスするには、[クイック リンク] - [vSAN] - [概要] に移動します。

表 3-3. vSAN の概要

ウィジェット	説明
何か問題は?	vSAN 全体のクリティカル アラートが表示されます。詳細については、[詳細表示] をクリックします。
キャパシティ不足が近い?	十分なキャパシティがあるかどうかが表示されます。
コンポーネント制限とは?	コンポーネントに適用されている制限が表示されます。
ディスク IOPS	1 秒あたりの IOPS が表示されます。
ディスク スループット	1 秒あたりのスループットが表示されます。
圧縮	圧縮が有効であるか無効であるかが表示されます。
重複解除	重複解除が有効であるか無効であるかが表示されます。

注意 圧縮と重複解除の値は同じです。

vSAN クラスタのビュー

関連するクラスタのホスト、キャッシュ ディスク、仮想マシン、およびキャパシティ ディスクの数を表示することができます。重複解除および圧縮が有効になっているかどうかも表示できます。このオプションにアクセスするには、[クイック リンク] - [vSAN] - [クラスタのビュー] に移動します。別のクラスタの情報を表示するには、[クラスタの変更] オプションをクリックします。

表 3-4. vSAN クラスタのビュー

ウィジェット	説明
何か問題は?	vSAN 全体のクリティカル アラートが表示されます。詳細については、[詳細表示] をクリックします。
残りキャパシティとは?	使用可能、使用済み、および合計のキャパシティが表示されます。
コンポーネント制限とは?	クラスタで使用されるコンポーネントが表示されます。
ディスク IOPS	クラスタの 1 秒あたりの IOPS が表示されます。
ディスク スループット	クラスタの 1 秒あたりのスループットが表示されます。
ディスク遅延	クラスタのディスク遅延が表示されます。
読み取り遅延 vs 書き込み遅延	クラスタの読み取り遅延および書き込み遅延が表示されます。

アラート

vSAN クラスタ内のオブジェクトに関連するアラートを表示することができます。重要度に基づいてアラートを表示することができます。このオプションにアクセスするには、[クイック リンク] - [vSAN] - [アラート] に移動します。データ グリッドでは、アラートと、各アラートの重要度、アラートがトリガされるオブジェクト、アラートのタイプなどの関連する詳細をリストで表示します。vRealize Operations Manager に移動するには、データ グリッドで [vRealize Operations で開く] リンクをクリックします。アラートがトリガされるオブジェクトと、修正の詳細を確認することができます。

vRealize Operations Manager へのアクセス

詳細とトラブルシューティングについては、[クイック リンク] - [vRealize Operations を開く] を選択し、vRealize Operations Manager を開いてアクセスします。